

●第4回jaih-s共同企画フォーラム開催のお知らせ

日本国際保健医療学会学生部会(jaih-s)との共催企画を開催いたします。国際保健医療分野での活躍を目指す皆様のご参加をお待ちしております。

紛争概論×少年兵のメンタルヘルス ～紛争の終とは～

◆日時 **2014年9月27日(土)** 12:15～17:15(懇親会 18:00～20:00)

◆会場 **大阪市立大学文化交流センターホール**

(<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/institution/bunko/index.html>)

◆講師 講義1 小野 圭司 先生(防衛省防衛研究所 社会・経済研究室長)
講義2 小川 真吾 先生(特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス)

◆参加人数 **120名**(専門学生、大学生、大学院生、社会人)

◆参加費 **500円**(懇親会参加される方は別途3000円を予定)

◆申込み方法 **jaih-sHP上のフォームにご記入の上お申し込み下さい。**

(<http://www.jaih-s.net/modules/eguide/event.php?eid=140>)

お問い合わせは、knowledge@jaih-s.netまで【(公社)日本WHO協会×jaih-s企画】と明記の上ご連絡ください。

私たちが勉強や仕事に打ち込んでいる丁度その時に、親と引き離され、人殺しを覚えさせられている子どもたちがいることをご存知の方も多いのではなかろうか。少年兵として武器を握らされている子どもたちの数は未だ世界に25万人以上、この数には非戦闘員の少年兵も含まれている。

今年で4回目を迎える本共催企画では、『紛争概論』と紛争における『少年兵のメンタルヘルス』について講師の先生よりお話を頂く。講義1『紛争概論』では、防衛省防衛研究所から小野圭司先生に社会学的視点から見た世界で起きている紛争の現在と復興について学び、続く講義2『少年兵のメンタルヘルス』では、カンボジア・ラオス・ウガンダ等の地域にて少年兵の社会復帰を支援されている特定非営利活動法人テラ・ルネッサンスより小川真吾先生からお話を頂く。

今回の主役である`少年兵`は被害者であると同時に、人を殺したという点においては加害者とも言える。中には自分の親を殺すよう指示され、逆らえば自分が殺されるという恐怖に怯え我を忘れて親を殺める子ども達や、大人たちの欲の為に劣悪な環境で重労働を強いられる子ども達も多くいる。彼らは運良く生きて帰ってきたとしても、地域住民からは`人殺し`というレッテルを貼られる。また、少年兵の数には決して男子だけではなく、誘拐され性的虐待を強いられている幼い少女たちも含まれている。終戦後彼らの心に残る傷やトラウマは私達には到底想像できないが、彼らが改めて教育を受け社会に戻ろうとするときの関わり方を考えることならばできるだろう。胸が痛む事実を踏まえワークショップでは、`真の紛争の終とは`といった正解のない疑問に挑む。果たして銃声の消えた時が紛争の終であるのか、子どもの心に寄り添いそとその悲しみに耳を傾ける。

文責:日本国際保健医療学会学生部会(jaih-s) 9期後半運営委員 加治 聡子

<助成>大阪コミュニティ財団/大阪信用金庫ふれあいスマイル基金
共催:日本国際保健医療学会学生部会 公益社団法人日本WHO協会